PowerShot PICK

活用ガイド

この使用説明書は、アプリケーションがVer.1.4.0以上、カメラ本体のファームウェアがVer.1.4.0以上であることを前提に説明しています。

J

CT2-D124-F
© CANON INC. 2023

目次

このカメラについて. 4
やりたいこと目次. 5
はじめに. 9
カメラと主な付属品. 10
使用説明書について. 11
このガイドについて. 12
使用できるカードについて. 14
安全上のご注意. 15
取り扱い上のご注意. 17
各部の名称. 19
専用アプリケーションについて. 20
基本的な使いかた. 22
充電する. 23
カードを入れる／取り出す. 24
カメラの置き方. 27
電源を入れる. 29
スマートフォンとの接続と終了. 30
ランプの表示. 36
撮影する. 38
自動で撮影する. 39
音声で操作する. 42
リモート撮影する. 46
画像を見る. 52
画像を見る. 53
特定の人物の画像を見る. 56
おすすめ画像を見る. 58
画像を保存／削除する. 59
スマートフォンに保存する／削除する. 60
パソコンに保存する. 64
アプリケーションの基本画面. 66

ホーム画面. 67
再生画面. 69
撮影画面. 70
ハイライト画面（iOSのみ）. 71
設定画面. 72
その他の機能. 75
自動撮影を設定する. 76
人物の情報を登録する. 77
撮影モードを設定する. 88
動画撮影時に追尾をアシストする. 90
優先的に撮影する人物を設定する. 92
撮影する画像に位置情報を付加する. 94
ハイライトを作成する（iOSのみ）. 98
アスペクト比を変更する. 103
ビデオ記録画質を変更する. 105
カメラの動作音の設定を変更する. 108
カメラのニックネームを変更する. 110
画像の自動削除の設定を変更する. 112
ワイヤレス通信ボタンをシャッターボタンとして使用する. 114
設定を初期状態に戻す. 116
ネットワーク設定を確認する. 121
Webカメラとして使用する. 123
アプリケーションからのメッセージを読む. 130
エラー表示の対応. 131
その他の情報. 134
資料. 137
故障かな？と思ったら. 138
セキュリティーについて. 143
主な仕様. 144
本製品を廃棄するときは. 150
商標・ライセンスについて. 152

このカメラについて

本製品は、カメラが捉えた人物を自動的に追尾しながら、静止画や動画を撮影するカメラです。また、カメラに話しかけて操作したり、スマートフォンでリモート撮影することもできます。
撮影した画像は、スマートフォンにインストールした専用アプリケーション「Connect app for Mini PTZ Cam」を使用して、閲覧したり保存することができます。

やりたいこと目次

撮影する

カメラまかせで撮影する

- 自動で撮影する

カメラに話しかけて操作する

- 音声で操作する

リモート撮影する

- リモート撮影する

画像を見る

画像を見る

- 画像を見る

特定の人物の画像を見る

- 特定の人物の画像を見る

カメラのおすすめ画像を見る

- おすすめ画像を見る

画像を保存する

スマートフォンに保存する

- スマートフォンに保存する／削除する

パソコンに保存する

- インターフェースケーブルを使用する
- カードリーダーを使用する

その他の機能

カメラに人物を登録して、優先的に撮りたい

- 人物の情報を登録する
- 優先的に撮影する人物を設定する

画像に撮った場所を記録したい

- 撮影する画像に位置情報を付加する

ハイライトを作成する（iOSのみ）

- ハイライトを作成する（iOSのみ）

はじめに

はじめに必ずお読みください

撮影の失敗や事故を未然に防ぐため、はじめに安全上のご注意、および取り扱い上のご注意をお読みください。また、この「活用ガイド」をよく読んで正しくお使いください。

試し撮りと撮影内容の補償について

撮影後は画像を再生して、画像が正常に記録されていることを確認してください。万一、カメラ（本機）やメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの画像の取り込みができなかった場合の、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

あなたがカメラ（本機）で記録した権利者のいる被写体の画像は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示会などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

ファームウェアのバージョンについて

キヤノンのWebサイトから最新のファームウェアをダウンロードして、バージョンアップを行ってください。

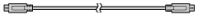
周辺機器との接続について
カメラをパソコンなどと接続するときは、付属または純正のインターフェースケーブルを使用してください。ケーブルの長さは2.5m以下を推奨いたします。

- カメラと主な付属品
- 使用説明書について
- このガイドについて
- 使用できるカードについて
- 安全上のご注意
- 取り扱い上のご注意
- 各部の名称
- 専用アプリケーションについて

カメラと主な付属品

ご使用前に、以下のものがすべてそろっているかご確認ください。万一、足りないものがあるときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。

カメラ

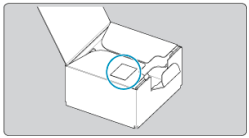


インターフェースケーブル

- メモリーカード（）は付属していません。
- 付属品は、なくさないように注意してください。

注意

- 付属のインターフェースケーブル使用時は、通信速度がHi-Speed USB（USB 2.0）相当になります。
- カメラが入っていた箱の内フラップ部に貼ってあるシールは捨てないで大切に保管してください。カメラとスマートフォンを接続するときに、シールに記載されているSSIDとパスワードが必要になる場合があります（）。



使用説明書について

カメラのセットアップの手順をまとめた「使用説明書」が、製品に付属しています。

- **活用ガイド**
  すべての使い方は、この「活用ガイド」で説明しています。
  最新の活用ガイドは、下記のサイトでご確認ください。
  https://cam.start.canon/C009/

- **Connect app for Mini PTZ Camユーザーガイド**
  専用アプリケーション「Connect app for Mini PTZ Cam」（）の基本的な使い方は、アプリケーション内で表示できる「Connect app for Mini PTZ Camユーザーガイド」で説明しています。
  Connect app for Mini PTZ Camユーザーガイドの表示方法は、その他の設定を参照してください。

このガイドについて

本文中の絵文字について

操作説明の前提と作例写真について

本文中の絵文字について

- 本文中の操作ボタンや設定位置の説明には、ボタンやアプリケーションで使われている絵文字を使用しています。

	関連トピックへのリンクを示しています。
	撮影に不都合が生じる恐れのある注意事項を記載しています。
	補足説明や補足事項を記載しています。
	上手に使うためのヒントや撮影のポイントを記載しています。

操作説明の前提と作例写真について

- 電源が入っていることを前提に説明しています（🔗）。
- 設定が初期状態になっていることを前提に説明しています。
- 専用アプリケーション「Connect app for Mini PTZ Cam」と接続していることを前提に説明しています。
- このガイドで使用している作例写真は、効果を分かりやすく伝えるためのイメージです。

使用できるカードについて

このガイドでは、使用できるメモリーカードのことを「カード」と表記しています。
下記のカードが使用できますが、想定する使い方に応じた容量のカードをご使用ください。
なお、新しく買ったカードや、他のカメラ、パソコンで初期化したカードは、スマートフォンにインストールした専用アプリケーションConnect app for Mini PTZ Camを使って初期化（フォーマット）してください（）。

- **microSD / microSDHC / microSDXC メモリーカード**
  ＊SD スピードクラス対応
  ＊UHS-I 対応

参考

- 自動撮影では、たくさんの画像が撮影されるため、大容量のメモリーカードの使用をおすすめします。目安として、自動撮影モード（アクティブ）で一時間撮影し続けた場合、約8GBの画像が保存されます。

動画が記録できるカードについて

動画を撮影するときは、動画記録サイズに適応する性能（書き込み/読み取り速度）を備えたカードを使用してください（）。

安全上のご注意

安全に使っていただくための注意事項です。必ずお読みください。
お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

⚠警告　死亡や重傷を負う恐れがある内容です。

● 乳幼児の手の届くところに置かない。
カメラ、アクセサリーの部品や付属品を飲み込むと危険です。飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。
● 指定外の電源は使わない。
● 分解や改造をしない。
● 強い衝撃や振動を与えない。
● 破損したときは、内部に触れない。
● 煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。
● アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。
● 液体でぬらしたり、内部に液体や異物を入れない。
● 可燃性ガスを含んだ空気中では使用しない。
感電、破裂、火災の原因となります。
● 雷が鳴り出したら、コンセントにつながれた製品に触れない。
感電の原因となります。
● バッテリーチャージャーやACアダプターを使うときは、次のことに注意する。
  - 電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。
  - ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
  - 電源プラグの差し込みが不十分なまま使わない。
  - 電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを触れさせない。
  - 雷が鳴り出したら、コンセントにつながれたバッテリーチャージャーやACアダプターに触れない。
● 電源コードに重いものをのせたり、傷つけたり、破損させたり、加工したりしない。
● 使用中および使用後すぐに、製品に布などをかけない。
● コードを引っ張って電源プラグを抜かない。
● 電源に長時間つないだままにしない。
● 5℃～40℃の範囲外で充電しない。
感電、破裂、火災の原因となります。
● 長時間、身体の同じ部位に触れさせたまま使わない。
熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするなど、低温やけどの原因となることがあります。気温の高い場所で使うときや、血行の悪い方や皮膚感覚の弱い方などが使うときは、三脚などを使ってください。
● 使用が禁止されている場所では、電源を切るなどの指示に従う。
電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となる恐れがあります。

⚠注意　下記の注意を守らないと、けがを負う可能性または物的損害の発生が想定されます。

● 製品を高温や低温となる場所に放置しない。
製品自体が高温や低温になり、触れるとやけどやけがの原因となります。
● レンズを強く押したり、ぶつけたりしない。
けがやカメラの故障の原因となります。
● 製品の内部には手を入れない。
けがの原因となります。
● 使用中や使用後に肌に異常を感じた場合は、使用を中止し医師にご相談ください。

取り扱い上のご注意

カメラについて

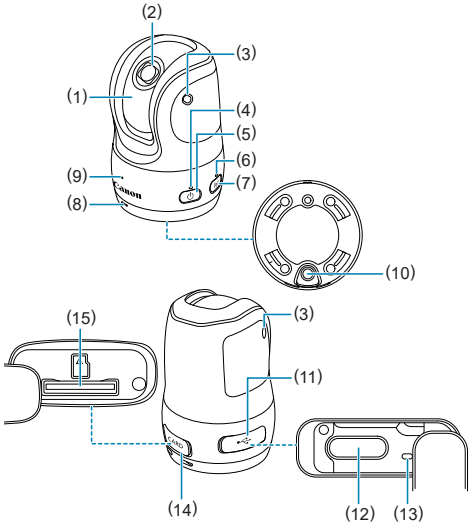
- カメラは精密機器です。落としたり衝撃を与えたりしないでください。
- このカメラは防水構造になっていませんので、水中では使用できません。
- ドームカバーにゴミがついているときは、市販のブロアーで吹き飛ばしてください。
- ドームカバーが指紋などで汚れているときは、市販のメガネ拭き（マイクロファイバー）で汚れをふき取ってください。拭き取り後は撮影をして汚れによるぼけがないかを確認してください。
- カメラに水が付着したときは、乾いたきれいな布で、ゴミやほこり、塩分などが付着したときは、固くしぼったきれいな布でよくふき取ってください。
- ゴミやほこりが多い場所で使用すると、故障の原因になります。
- 使用後はカメラの清掃をおすすめします。ゴミやほこり、水、塩分などをカメラに付着したままにすると、故障の原因になります。
- 万一、カメラが水に濡れて、内部に浸水（水没）したり、ゴミやほこり、塩分などが内部に侵入した恐れがあるときは、早めに修理受付窓口にご相談ください。
- カメラを磁石やモーターなどの強力な磁気が発生する装置の近くに、絶対に置かないでください。また、電波塔などの強い電波が発生しているところで使用したり、放置したりしないでください。電磁波により、カメラが誤動作したり、記録した画像データが破壊されることがあります。
- 直射日光下の車の中などは予想以上に高温になります。カメラの故障の原因になることがありますので、このような場所にカメラを放置しないでください。
- カメラには精密な回路が内蔵されていますので、絶対に自分で分解しないでください。
- カメラを寒暖差の激しいところに移すと、カメラの外部や内部に結露（水滴）が発生することがあります。カメラを寒暖差の激しいところへ移すときは結露の発生を防ぐために、カメラをビニール袋に入れて袋の口を閉じ、周囲の温度になじませてから、袋から取り出してください。
- 結露が発生したときは、故障の原因になりますので、カメラを使用したり、カードをカメラから取り外さないでください。カメラの電源をOFFにして、水滴が完全に消えるまで待ってから、カメラを使用してください。なお、水滴が完全に消えても、カメラ内部が低温になっているときは、周囲の温度になじむまで、カードをカメラから取り外さないでください。
- 湿気のある場所でカメラを使用すると、ドームカバーの内側に結露（水滴）が発生することがあります。カメラの電源をOFFにして水滴が消えるまで待ってからカメラを使用してください。
- カメラを長期間使用しないときは、風通しが良く、涼しい乾燥した場所に保管してください。保管期間中でも、ときどき作動することを確認してください。
- カメラの保管場所として、実験室などのような薬品を扱う場所は、さび・腐食などの原因になるため避けてください。
- 長期間使用しなかったカメラは、各部を点検してから使用してください。長期間使用しなかったあとや、海外旅行など大切な撮影の前には、各部の作動を修理受付窓口、またはご自身でチェックしてからご使用ください。
- 明るい光源が撮影画面の内側や外側近くにあると、ゴーストが写り込むことがあります。

カードについて

カードとその中に記録されているデータを保護するために、次の点に注意してください。

- 「落とさない」、「曲げない」、「強い力や衝撃、振動を加えない」、「濡らさない」。
- カードの接点に指や金属が触れないようにする。
- カード表面にシールなどを貼らない。
- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものや、静電気の発生しやすいところで保管、使用しない。
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くに放置しない。
- ケースなどに入れて保管する。
- 温度の高いところ、ほこりや湿気の多いところに保管しない。

各部の名称



(1)	ドームカバー
(2)	撮影レンズ
(3)	マイク
(4)	電源ランプ
(5)	〈⏻〉電源ボタン
(6)	通信ランプ
(7)	〈((ᵠ))〉ワイヤレス通信ボタン
(8)	スピーカー
(9)	ステータスランプ
(10)	アクセサリー接続ねじ穴
(11)	端子カバー
(12)	〈•⇐⇒•〉デジタル端子
(13)	充電ランプ
(14)	〈CARD〉カードスロットカバー
(15)	〈🂠〉カードスロット

専用アプリケーションについて

「Connect app for Mini PTZ Cam」は、このカメラを操作するための専用アプリケーションです。
カメラとスマートフォンやタブレット（以降は「スマートフォン」と記載）をWi-Fi接続（以下、接続と記載）することで、カメラのリモート操作や、撮影した画像の閲覧などを行うことができます。

- Bluetooth low energy technology（以降は「Bluetooth」と記載）対応スマートフォンの使用をおすすめします。

- Connect app for Mini PTZ Camは、Google PlayまたはApp Storeから、無料でダウンロードすることができます。Google PlayまたはApp Storeは、活用ガイドのサイト（）からもアクセスできます。

- Connect app for Mini PTZ Camの詳しい使い方については、アプリケーション内で表示できる「Connect app for Mini PTZ Camユーザーガイド」を参照してください。

参考

- スマートフォンのOSは、最新のバージョンを使用してください。
- Connect app for Mini PTZ Camが対応しているOSのバージョンについては、Connect app for Mini PTZ Camのダウンロードサイトで確認してください。
- カメラのファームウェアアップデートやConnect app for Mini PTZ Cam、Android、iOSなどのバージョンアップにより、本書の記載と実際の画面例などが異なることがあります。

基本的な使い方

この章では、撮影に入る前にあらかじめ準備しておくことと、基本の操作や情報について説明しています。

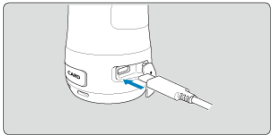
注意

- カメラの可動部を手動で回さないでください。故障の原因になります。

- 充電する
- カードを入れる／取り出す
- カメラの置き方
- 電源を入れる
- スマートフォンとの接続と終了
- ランプの表示

充電する

1. 充電する



- このカメラの使用前に充電を行います。
- 本体のデジタル端子と電源アダプター（別売）を接続し、充電してください。
- 充電が始まると、充電ランプがオレンジ色にゆっくり点滅します。
- 充電ランプがオレンジ色に点灯すると、充電完了です。

- **使い切った状態からフル充電までに要する時間は、常温（＋23℃）で約1時間59分です。**なお、充電時間は周囲の温度や残量によって大きく異なります。
- 安全に充電を行うため、低温下（+5℃～+10℃）では充電時間が長くなります。
- このカメラは給電状態でも使用することができます。給電中は、端子カバーがカメラの可動部に触れないようにしてください。

参考

- 本製品の充電および給電には、USB電源アダプターPD-E1（別売）の使用をおすすめします。なお、市販の電源アダプター（USB Type-C、Power Delivery対応、出力電圧/出力電流：9VDC/2A以上）についても動作を確認している製品があります。詳しくはキヤノンのホームページで確認してください。

- **購入時、バッテリーはフル充電されていません**
  充電してからお使いください。

- **充電は使用する当日か前日にする**
  充電して保管していても、自然放電により少しずつバッテリーの容量が少なくなっていきます。

- **カメラは0℃～＋40℃の範囲で使用する**
  カメラの性能を十分に発揮させるためには、＋10℃～＋30℃の範囲で使用することをおすすめします。低温下では内蔵バッテリーの性能が一時的に低下し、使用できる時間が短くなることがあります。

カードを入れる／取り出す

入れ方

取り出し方

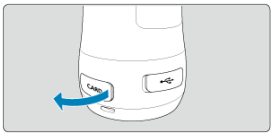
注意

- microSD / microSDHC / microSDXC メモリーカード以外のカードは使用できません。

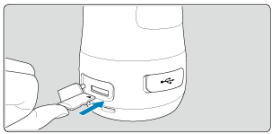
カードを入れる、または取り出す前に、必ずカメラの電源を切ってください。

入れ方

1. **カバーを開ける**

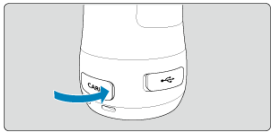


2. **カードを入れる**



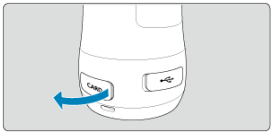
- カードの表を上にして差し込みます。**入れる向きを間違えるとカメラが壊れることがあります。**

3. **カバーを閉める**

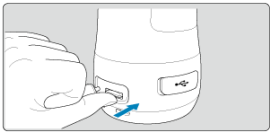


取り出し方

1. **カバーを開ける**



2. **カードを取り出す**



- カードを押し込むと、カードが出てきます。
- カードをまっすぐに取り出して、カバーを閉じます。

注意

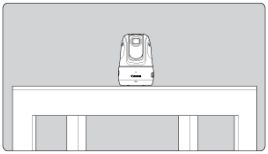
- **ステータスランプが点灯／点滅しているときに次のことを行うと、画像データが壊れたり、カードやカメラ本体が損傷する原因になるため、絶対に行わないでください。**
  - **カードを取り出す**
  - **カメラ本体に振動や衝撃を与える**
- アプリケーションにカードのトラブルに関するメッセージが表示されたときは、電源を切ってからカードの抜き差しを行ってください。それでも改善しないときは、別のカードに交換してください。
  なお、パソコンでカードの内容が読み取れるときは、カード内のデータをすべてパソコンに保存したあと、カメラでカードを初期化してください（）。正常な状態に戻ることがあります。

参考

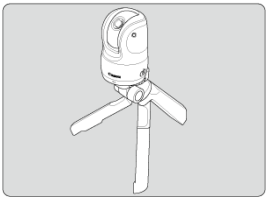
- 画像が記録されているカードを使用すると、撮影した画像の番号が0001から始まらないことがあります。

カメラの置き方

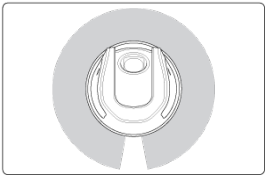
カメラは水平で安定した場所に置いてください。
屋外で使用するときは、直射日光の当たる場所は避けて、日陰に置くことをおすすめします。



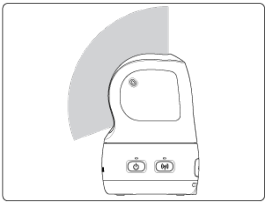
底面にはアクセサリー接続ねじ穴があり、三脚などに取り付けることができます。



このカメラの撮影部の作動範囲は下図のとおりです。カメラと人物の間に障害物がない状態を作っておくと、撮影のときに人物を捉えやすくなります。

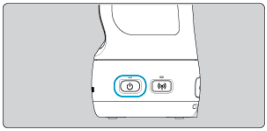


約340°



約110°

電源を入れる



- 〈⏻〉ボタンを押すと、電源が入ります。もう一度押すと、電源が切れます。

注意

- 電源ランプが赤色に点灯したときは、バッテリーの残量が少ない状態です。給電状態で使用するか、電源を切り、充電してください。

スマートフォンとの接続と終了

- スマートフォンと接続する
- Wi-Fi接続を切断してアプリケーションを終了する
- 再接続する

注意

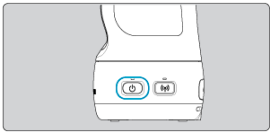
必ずお読みください

- このカメラを使用するために、誤ったネットワークの設定を行った結果生じた損害に対して、弊社では補償できませんので、あらかじめご了承ください。また、このカメラを使用した結果生じた損害に対しても、弊社では補償できませんので、併せてご了承ください。
  ネットワークを使用する際には、お客様の責任と判断で必要なセキュリティーを設定してご使用ください。不正侵入等によって生じた損害に対して、弊社では補償できませんので、あらかじめご了承ください。

スマートフォンと接続する

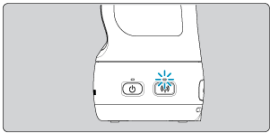
このカメラで撮影を開始するには、最初にスマートフォンと接続する必要があります。
スマートフォンとの接続は、次の手順で行います。

1. **カメラの電源を入れる**



2. Connect app for Mini PTZ Camを起動する

- 表示されるメッセージに従って、カメラと接続します。
- 接続が完了すると、Connect app for Mini PTZ Camのホーム画面が表示され、カメラの通信ランプが点灯します。

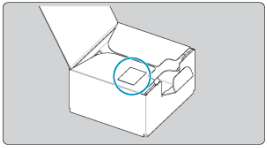


参考

- 接続がうまくいかないときは、「故障かな？と思ったら」の無線通信機能関連を参照してください。

ペアリングできないとき

ペアリングできないときは、SSIDとパスワードを使用した接続を行うメッセージが表示されます。
SSIDとパスワードは、カメラが入っていた箱の内フラップ部に貼ってあるシールに記載されています。



メッセージに従ってSSIDとパスワードを入力し、接続を完了させます。

Wi-Fi接続を切断してアプリケーションを終了する

1. **[（設定）] をタッチする**

2. **[カメラ基本設定] をタッチする**

3. ［Wi-Fi 接続を切断してアプリを終了］をタッチする

- 撮影を終了するときは、カメラの電源を切ります（🔗）。

再接続する

1. **カメラの電源を入れる**

2. **Connect app for Mini PTZ Camを起動する**

    - 表示されるメッセージに従って、スマートフォンと再接続します。

参考

- 接続がうまくいかないときは、「故障かな？と思ったら」の無線通信機能関連を参照してください。

ランプの表示

ステータスランプ（赤）

撮影の状況やエラーの発生状況を確認することができます。

ランプ	状態
消灯	待機中
1回点滅	静止画を撮影
点灯	動画を撮影中
点滅	エラー発生中

注意

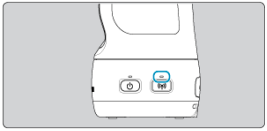
- ステータスランプが点滅しているときは、エラーが発生しています。アプリケーションのメッセージを確認してください（）。

電源ランプ（緑／赤）

バッテリー残量や電源の状態を確認することができます。

ランプ	状態
消灯	バッテリー残量なし、または電源が入っていない
点灯	電源が入っている 緑：バッテリー残量多い 赤：バッテリー残量少ない
点滅	音声コマンドによる自動撮影停止中、パソコンと接続中

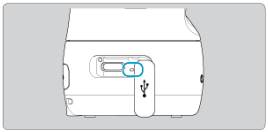
通信ランプ（青）



スマートフォンとの接続状況を確認することができます。

ランプ	状態
消灯	接続未設定、ペアリング未設定
点滅（1秒に1回）	ペアリング中
点滅（6秒に1回）	ペアリング待機中
点滅（3秒に1回）	接続待機中
点灯	接続中

充電ランプ（オレンジ）



充電／給電の状況を確認することができます。

ランプ	状態
消灯	USB未接続中、または充電／給電ができない状態
ゆっくり点滅	充電中／給電中
点灯	充電完了
速く点滅	充電エラー発生中

撮影する

この章では、いろいろな撮影方法について説明しています。

注意

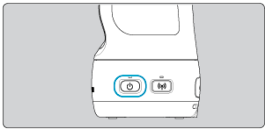
- 以下の条件の場合、ピントが合いにくいことがあります。
  - 青空、単色の平面、被写体が白とびや黒つぶれしているときなど、明暗差（コントラスト）のない被写体
  - 暗い場所にある被写体
  - 縞模様など、水平方向のコントラストしかない被写体
  - 繰り返し模様の被写体（例：ビルの窓やパソコンのキーボードなど）
  - 細い線、被写体の輪郭部分
  - 明るさや色、パターンが変化する光源
  - 夜景など、点状の光源
  - 蛍光灯やLED照明などの光源下で、ちらついている場合（フリッカー）
  - 被写体が極端に小さい場合
  - 画面の端にある被写体
  - 強い逆光状態、または光の反射が強い被写体（例：反射光の強い車のボディなど）
  - 近くと遠くにある被写体が、AFフレームの中に入っている場合（例：おりの中の動物など）
  - 手ブレや被写体ブレで、被写体が揺れ動いて、静止しない場合
  - 大きくピントがぼけた状態からAFを行った場合

- 自動で撮影する
- 音声で操作する
- リモート撮影する

自動で撮影する

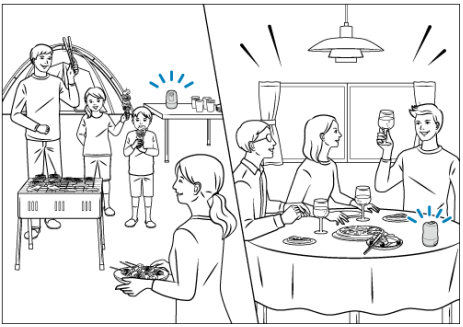
カメラの電源を入れると、人物を探して、自動的に静止画や動画の撮影が行われます。

- あらかじめ、スマートフォンとのペアリングと接続を完了させておいてください。
- 接続の完了後は、スマートフォンとの接続がない状態でも、電源を入れるだけで自動撮影が行われます。
- カメラの電源を切ると、自動撮影が終了します。



こんなときにおすすめ！

- キャンプで遊ぶ様子を撮影したい
- ホームパーティーなどの様子を撮影したい



自動撮影の設定は、アプリケーションで変更することができます。

- ホーム画面で［**自動撮影**］をオフにすると、自動撮影が行われなくなります。
- ［**設定**］をタッチすると、優先設定や自動撮影の内容などを変更できます（）。

注意

- 被写体の条件によっては、自動撮影されない場合があります。
  - 被写体が遠すぎる場合
  - マスクや帽子、サングラスなどで顔の一部が大きく覆われている場合
- 自動撮影中、カメラとスマートフォンをWi-Fi接続していると、動画が撮影されません。動画の自動撮影は、以下の条件で行えます。
  - アプリケーションをバックグラウンドに移したとき
  - [⚙（**設定**）]をタッチしたあと、[**カメラ基本設定**]の[**Wi-Fi 接続を切断してアプリを終了**]をタッチしてアプリケーションを終了したとき
- 自動撮影中、カメラ内部の温度が上昇すると、動画撮影の記録時間が短くなることがあります。
- 自動撮影中、カメラ内部の温度が上昇すると、自動撮影割合の設定を「動画あり」に設定していても動画が撮影されない場合があります。
- 自動撮影中、カメラ内部の温度が上昇すると、本体の電源がオフになることがあります。
- 自動撮影中に、ステータスランプが、１回点滅（静止画を撮影）、点灯（動画を撮影）しても、カメラ内で撮影失敗と判定されると、画像が削除されることがあります。
- 自動撮影で動画撮影中に、スマートフォンと接続、音声コマンドによる操作、電源を切るといった操作をすると、動画撮影が自動的に終了し、動画が削除されることがあります。
- 個人認証機能で登録した顔の画像（顔情報）は、カメラに記録されます。そのため個人認証機能を設定したあとは、カメラを他人に渡すときは、十分注意してください。
- 個人認証機能で顔の登録、名前、誕生日を設定しているカメラを譲渡や廃棄するときは、すべての登録情報を削除（🔗）してください。

音声で操作する

自動撮影中に［**音声コマンド一覧**］に用意された言葉をカメラに話しかけることで、カメラを操作できます。

注意

- 音声コマンドは、カメラに呼びかけたあと、5秒以内に話しかけてください。
- カメラまでの距離、話し方、声量、周囲の騒音によっては、音声コマンドが認識されないことがあります。
- 音声コマンドで動画撮影を指示した場合、2分で自動停止します。自動撮影で動画撮影中に音声コマンドを検出すると、動画撮影が自動的に終了します。

用意された音声コマンドは、以下の手順で確認できます。

1. **［⚙（設定）］をタッチする**

2. **［音声コマンド一覧］をタッチする**

注意

- アプリケーション起動後に、スマートフォンの言語設定を変更しても、音声コマンドの言語は変更されません。音声コマンドの言語を変更するときは、［**カメラ基本設定**］の［**音声コマンドの言語設定**］から変更してください。
- 音声操作による動画撮影中、カメラ内部の温度が上昇すると、本体の電源がオフになることがあります。

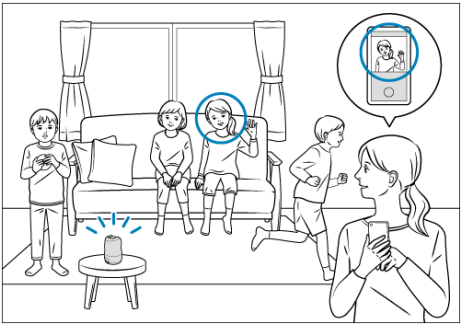
音声操作は、以下の手順でオフにできます。

1. **［カメラ基本設定］をタッチする**

2. ［音声コマンド］をオフにする

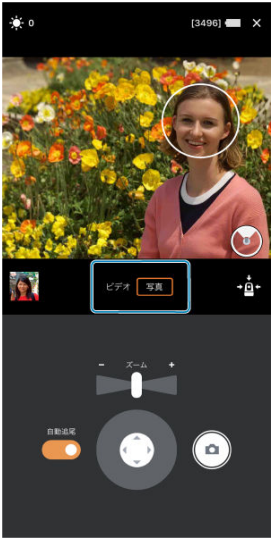
リモート撮影する

スマートフォンで映像を見ながら、リモート撮影することができます。映像を確認しながら集合写真を撮影したり、自動追尾する人物を確認しながら撮影することができます。



1. **[(カメラ)] をタッチする**

2. **[ビデオ] または [写真] をタッチする**



- カメラが人物を検出すると、顔の部分に白い丸が表示され、追尾を開始します。
- 撮影モードを [**ビデオ**] にすると、動画が撮影される領域が灰色の四角枠で表示されます。

3. カメラの向きと、撮りたいものの大きさを決める

- カメラコントロール（1）を操作するか、画面をスライドして、カメラの向きを操作します。
- ズームコントロール（2）を操作するか、画面をピンチイン／アウトして、撮りたいものの大きさを変更します。

4. 撮影ボタンをタッチする

- 撮影が行われます。
- 動画撮影を終了するときは、もう一度撮影ボタン（3）をタッチします。

注意

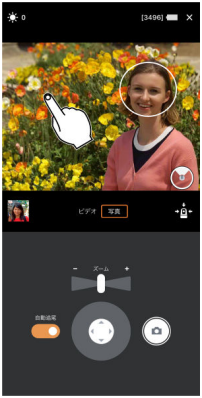
- リモート操作による動画撮影中、カメラ内部の温度が上昇すると、警告が表示されます。そのまま使用を続けると本体の電源がオフになることがあります。

参考

- [☀]（4）をタッチすると、撮影画像の明るさを調整（露出補正）することができます。

ピントを合わせるとき

ピントを合わせたい位置をタッチします。
ピントのみを合わせたい場合は、［**自動追尾**］をオフに、ピントを合わせつつ指定した被写体が画角内に収まるように追尾したい場合は、［**自動追尾**］をオンにします。



追尾する人物を切り換えるとき

追尾したい人物をタッチすると、丸い枠が点線から実線に変わり、追尾対象が切り換わります。

画像を見る

この章では、撮影した静止画や動画の再生方法について説明しています。

- 画像を見る
- 特定の人物の画像を見る
- おすすめ画像を見る

画像を見る

- 静止画や動画を見る
- 静止画や動画を一覧表示する

撮影した静止画や動画は、Connect app for Mini PTZ Camで確認することができます。

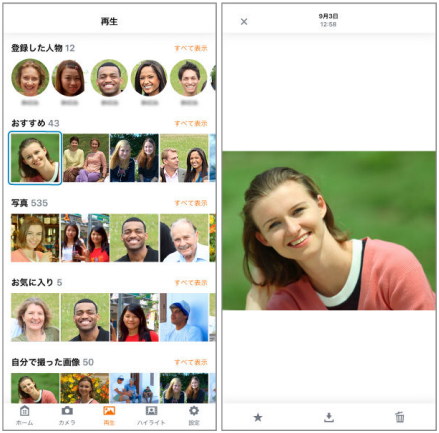
注意

- 「再生画面」や「一覧再生画面」では、画像の数が増えると表示に時間がかかることがあります。

静止画や動画を見る

1. **[（再生）] をタッチする**

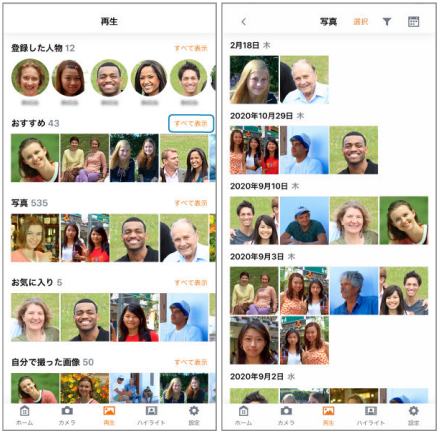
2. **画像のサムネイルをタッチする**



- 大きい画像が表示されます。
- 左右にフリックすると、前後に撮影された画像を見ることができます。

静止画や動画を一覧表示する

1. ［すべて表示］をタッチする



- 画像の一覧が表示されます。

2. 表示を切り換える

- ［ ］をタッチすると、タイル表示に切り換わります。
- 画像のサムネイルをタッチすると、大きい画像が表示されます。

特定の人物の画像を見る

カメラに登録された特定の人物が写った画像を見ることができます。

1. ［登録した人物］から、表示したい人物のアイコンをタッチする

- ［**すべて表示**］をタッチすると、登録した人物の一覧を見ることができます。

2. 画像のサムネイルをタッチする

- 大きい画像が表示されます。

注意

- 登録した人物と異なる人物の画像が表示されることがあります。
- 使用環境によっては、登録した人物の画像でも表示されないことがあります。

おすすめ画像を見る

撮影した画像の中から自動的に選ばれたおすすめ画像を見ることができます。

1. **［おすすめ］から見たい画像のサムネイルをタッチする**

- ［**すべて表示**］をタッチすると、おすすめの画像の一覧を見ることができます。

画像を保存／削除する

この章では、撮影した画像の保存や削除について説明しています。

- スマートフォンに保存する／削除する
- パソコンに保存する

スマートフォンに保存する／削除する

- 1枚ずつ保存／削除する
- まとめて保存／削除する

注意

- スマートフォンに保存した画像は、専用アプリケーションにより傾きが自動補正されるため、パソコンに保存した画像と一致しない場合があります。

1枚ずつ保存／削除する

1. **画像を表示する**

2. 保存／削除する

- ［⬇］をタッチすると、スマートフォンに保存されます。
- ［🗑］をタッチすると、カメラから削除されます。
- ［★］をタッチすると、［**お気に入り**］に登録されます。

まとめて保存／削除する

1. 画像の一覧を表示する

- ［**写真**］、［**ビデオ**］の一覧を表示しているとき、［▼］が表示されます。［▼］をタッチすると、表示させる画像を変更できます。
- ［**選択**］をタッチします。

2. 画像を選ぶ

- 選択した画像にチェックマークがつきます。
- 画面を上下にフリックすると、右側にスクロールバーが表示されます。スクロールバーをタッチすることで、高速移動できます。
- 複数選択するには、画像を長押しします。長押しした画像が始めの画像（始点）となり、終わりの画像（終点）を選ぶと、始点から終点までの範囲の画像に［ ］が表示されます。
- 画像をダブルタップすると、画像を拡大できます。

3. 保存／削除する

- ［ ］をタッチすると、スマートフォンに保存されます。
- ［ ］をタッチすると、カメラから削除されます。
- ［★］をタッチすると、［**お気に入り**］に登録されます。

パソコンに保存する

- インターフェースケーブルを使用する
- カードリーダーを使用する

撮影した画像は、パソコンに取り込むこともできます。

インターフェースケーブルを使用する

1. カメラとパソコンを接続する

- 付属のインターフェースケーブルを使用します。
- パソコンのUSB端子（Type-C）にプラグを差し込みます。

2. カメラ（カード）内の「DCIM」フォルダにある画像を、パソコンにコピーする

カードリーダーを使用する

1. **カードリーダーにカードを差し込む**

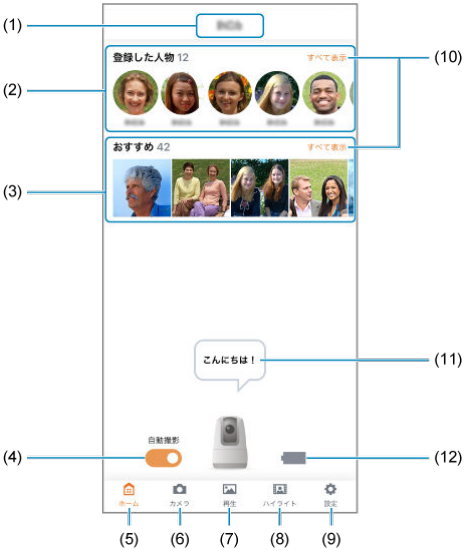
2. **カード内の「DCIM」フォルダにある画像を、パソコンにコピーする**

アプリケーションの基本画面

各画面で使用できる機能について、詳しくはアプリケーション内で表示できる「Connect app for Mini PTZ Camユーザーガイド」を参照してください。

- ホーム画面
- 再生画面
- 撮影画面
- ハイライト画面（iOSのみ）
- 設定画面

ホーム画面



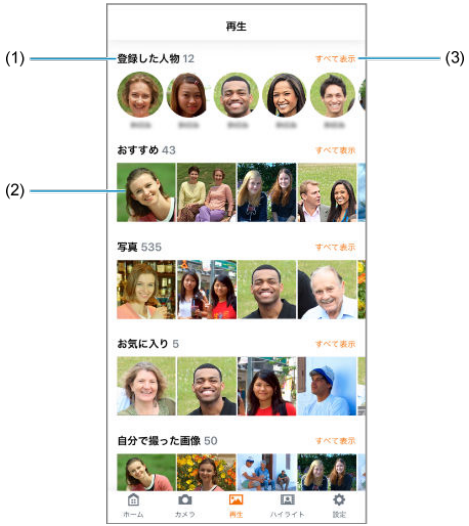
(1)	カメラのニックネームが表示されます。
(2)	カメラに顔を向けると、自動的に人物が登録されます。名前を付けることもできます（🔗）。
(3)	すべての画像の中から自動的におすすめの画像が表示されます。
(4)	自動撮影モードのオン／オフを切り換えることができます（🔗）。
(5)	「ホーム画面」に切り換わります。
(6)	「撮影画面」に切り換わります。
(7)	「再生画面」に切り換わります。
(8)	「ハイライト画面」に切り換わります（iOSのみ）。
(9)	「設定画面」に切り換わります。
(10)	選択した項目の画像を一覧で表示します（🔗）。
(11)	カメラからのメッセージを表示します。
(12)	カメラのバッテリー残量を表示します。

参考

バッテリー残量表示について

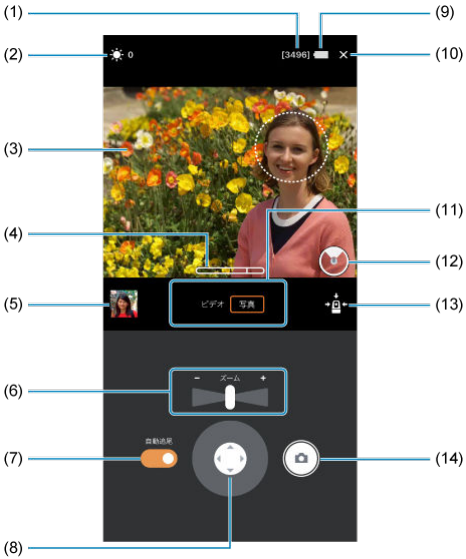
- []：バッテリー残量多
- []：バッテリー残量中
- []：バッテリー残量少
- []：給電中（充電中）
- []：給電中（充電完了）

再生画面



(1)	項目ごとに画像がグループ化されます。項目名の横に画像の数が表示されます。
(2)	［**登録した人物**］のサムネイルをタッチすると、「個人の写真一覧画面」を表示します。他の項目のサムネイルをタッチすると、個別の画像を表示します。
(3)	選択した項目の画像を一覧で表示します（ ）。

撮影画面



(1)	撮影可能枚数表示
(2)	露出補正表示
(3)	ライブビュー画面
(4)	ズームバー
(5)	サムネイル
(6)	ズームコントロール
(7)	［**自動追尾**］オン／オフスイッチ
(8)	カメラコントロール
(9)	カメラのバッテリー残量
(10)	×（閉じる）ボタン
(11)	撮影モード（ビデオ／写真）ボタン
(12)	カメラの向き
(13)	カメラ方向リセットボタン
(14)	撮影ボタン

ハイライト画面（iOSのみ）

ハイライトを作成する画面です（）。

設定画面

撮影の優先度の設定

撮影モードの設定（）や動画撮影時の追尾アシスト（）、人物の優先設定（）ができます。

自動撮影の設定

自動撮影の内容を設定することができます（🔗）。

その他の設定

(1)	カメラの基本設定の変更や、カメラのシリアル番号の確認ができます。
(2)	ネットワーク設定を確認できます（）。
(3)	Webカメラの設定ができます（）。
(4)	カメラの設定の初期化や、カードの初期化ができます（）。
(5)	音声コマンドの一覧を表示します（）。
(6)	アプリケーションの使用説明書を表示します。
(7)	カメラやアプリケーションの情報の確認や、カメラのファームウェアのアップデートができます（）。

その他の機能

この章では、アプリケーションで設定できる主な項目について説明しています。詳しくは、Connect app for Mini PTZ Camで表示できるユーザーガイドを参照してください。

- 自動撮影を設定する
- 人物の情報を登録する
- 撮影モードを設定する
- 動画撮影時に追尾をアシストする
- 優先的に撮影する人物を設定する
- 撮影する画像に位置情報を付加する
- ハイライトを作成する（iOSのみ）
- アスペクト比を変更する
- ビデオ記録画質を変更する
- カメラの動作音の設定を変更する
- カメラのニックネームを変更する
- 画像の自動削除の設定を変更する
- ワイヤレス通信ボタンをシャッターボタンとして使用する
- 設定を初期状態に戻す
- ネットワーク設定を確認する
- Webカメラとして使用する
- アプリケーションからのメッセージを読む
- エラー表示の対応
- その他の情報

自動撮影を設定する

自動撮影のモードを切り換えることができます。

1. **設定画面を表示する**

2. **［自動撮影モード］の項目を選ぶ**

- ［**カスタム**］を選ぶと、より詳細な設定ができます。

参考

- ［**自動撮影モード**］の項目を［**エコ**］か［**ライト**］に設定すると、バッテリーの消耗を抑えることができます。

人物の情報を登録する

- 人物の情報を入力する
- 登録人物を削除する
- 登録人物を統合する

カメラが認識した人物は、12人まで自動的に登録されます。
新しい人物が認識されると、保護されていない人物を削除して登録が行われます。
人物の登録を保護したいときは、人物の情報を入力します。

注意

- 条件によっては、撮影された画像が人物登録されない場合があります。
  - 被写体が遠すぎる場合
  - 被写体が近すぎる場合
  - マスクや帽子、サングラスなどで顔の一部が大きく覆われている場合
  - 「設定画面」で［**優先設定**］がオフにされている場合
  - アプリケーションで「撮影画面」または「設定画面」を表示している場合

参考

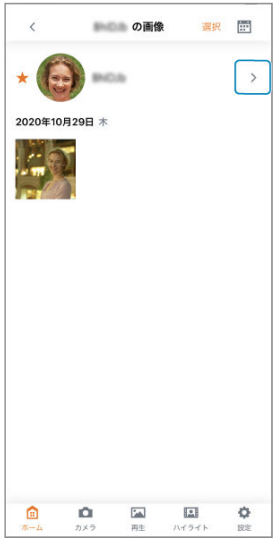
- 被写体は、カメラから50～100cmの距離にいるときに、登録されやすくなります。

人物の情報を入力する

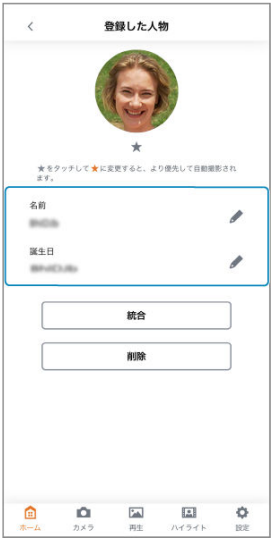
1. **［登録した人物］から、情報を入力したい人物をタッチする**

- ［**すべて表示**］をタッチすると、登録した人物の一覧を見ることができます。

2. [>] をタッチする



3. 名前と誕生日を入力する



- 名前か誕生日を入力すると、人物の登録が保護されます。
- 人物の登録を保護すると、新しい人物が認識されても登録情報が自動的に削除されなくなります。

参考

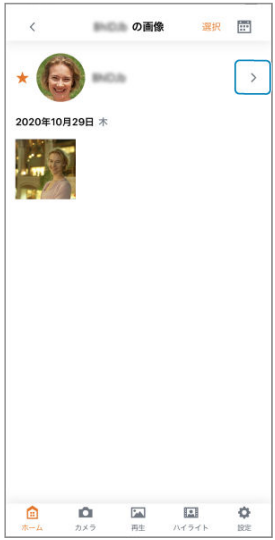
- ［★］をタッチしてオレンジ色に変更すると、優先撮影設定されます（）。

登録人物を削除する

1. **［登録した人物］から、削除したい人物をタッチする**

- ［**すべて表示**］をタッチすると、登録した人物の一覧を見ることができます。

2. [>] をタッチする



3. **［削除］をタッチする**

4. **［はい］をタッチする**

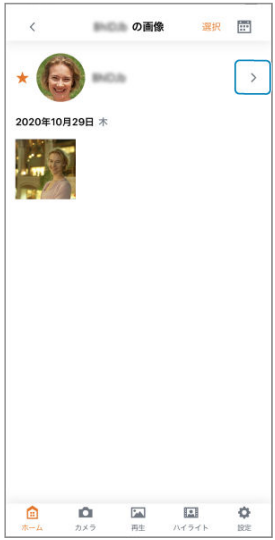
登録人物を統合する

すでに登録されている人物が、別の人物として登録されてしまったときは、同一人物としてまとめることができます。

1. **［登録した人物］から、統合したい人物をタッチする**

- ［**すべて表示**］をタッチすると、登録した人物の一覧を見ることができます。

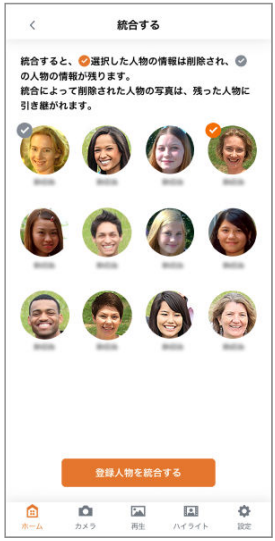
2. [>] をタッチする



3. **［統合］をタッチする**

登録した人物
★をタッチして★に変更すると、より優先して自動撮影されます。
名前
誕生日
統合
削除
ホーム
カメラ
再生
ハイライト
設定

4. 統合したい人物をタッチする



- 選択した人物にチェックマークがつきます。

5. ［登録人物を統合する］をタッチする

撮影モードを設定する

写真撮影時のシーンに合わせて、撮影モードを変更できます。

こんなときにおすすめ！

- 屋外での撮影や人の動きがあるシーンで撮影するとき
  ［**モード1: スタンダード**］を選択します。ブレを抑え、バランスのとれた写真が撮れます。
- 屋内の比較的人の動きが小さいシーンで撮影するとき
  ［**モード2: 屋内優先**］を選択します。［**モード1: スタンダード**］に比べ、色味が濃くノイズが少ないくっきりとした写真が撮れます。

1. **設定画面を表示する**

2. **［撮影モード］をタッチする**

3. 設定を変更する

参考

- 撮影モードを［**モード2: 屋内優先**］に設定すると、撮影環境が暗く被写体の動きが多いシーンや手持ち撮影シーンにおいて、ブレた写真が撮影され易くなります。ブレた写真の撮影を少なくしたい場合は、撮影モードを［**モード1: スタンダード**］に設定してください。
- ［**モード2: 屋内優先**］に設定すると、ズーム倍率が2倍までに制限されます。そのため、［**モード1: スタンダード**］に設定した場合よりも被写体をアップした写真が撮影されにくくなります。

動画撮影時に追尾をアシストする

動画撮影時にカメラが被写体を見つけられないときにおいても、動く物体を検出して追尾します。

こんなときにおすすめ！

- 一人のスポーツシーンを撮りたいとき
- 外で子どもの動きを撮りたいとき

注意

- 動きのある被写体を効果的に撮影するためには、以下を行ってください。
  - 明るい場所で撮影してください。
  - 車など大きくて動きの速いものや、写すつもりのない人が周囲にいないことを確認してください。
  - アプリケーションの［**（カメラ）**］をタッチし、撮影範囲を事前に確認、調整してから撮影を開始してください。
- 複数の人が動く場合は全員を追尾できません。写る人を一人に限定して撮影してください。
- カメラは被写体を上手く検出できないまま一定時間が過ぎると、自動で撮影開始位置に戻ります。

1. 設定画面を表示する

2. ［追尾アシスト］をオンにする

注意

- 複数の動く被写体がカメラに写り込むと、写り込んだ被写体を追尾することがあります。
- 動く被写体を追尾しているときは、［**優先設定**］がオンになっていても、動く被写体を優先します。
- 以下の撮影条件では、追尾できないことがあります。
  - 被写体が小さい
  - 被写体の動きが速い、もしくは極端に遅い
  - 暗いところや逆光など、被写体と背景との見分けがつきにくい
  - ズーム倍率が6倍を超えている
- カメラは、被写体の背景にある模様などを顔と認識して、追尾動作を停止することがあります。
- 格子模様、ストライプ模様のような繰り返しのパターンがカメラに写りこんでいると、追尾が正常に行われないことがあります。

優先的に撮影する人物を設定する

登録された人物に優先度を設定すると、その人物を優先的に撮影します。

こんなときにおすすめ！

- 誕生会で主役の写真をたくさん撮りたいとき
- 旅行先で子どもの写真をたくさん撮りたいとき

1. **設定画面を表示する**

2. **［優先設定］をオンにする**

3. ［登録した人物］の［★］をタッチする

- ［★］がオレンジ色に変わり、その人物を優先的に撮影します。

注意

- 登録人物に優先度を設定すると、人物の登録情報が保護されます。新しい人物が認識されても登録情報が自動的に削除されなくなります。

参考

- 登録人物に優先度を設定すると、自動撮影される画像の数が多くなることがあります。
- 優先度を設定した人物を見つけられない場合、自動撮影される画像の数が少なくなることがあります。

撮影する画像に位置情報を付加する

スマートフォンのGPS機能を利用して、撮影する画像に位置情報（緯度／経度／標高など）を付加することができます。
スマートフォンの位置情報取得機能はオンにしておきます。

注意

- GPSの特性上、標高の精度は、緯度・経度の精度よりも劣ります。
- カメラの電源を入れた直後は位置情報が記録されないことがあります。

GPS機能が使える国や地域について

- GPS機能の使用は、国や地域ごとの法令等により規制されていることがあるため、違反すると罰せられることがあります。そのため、GPS機能が使用できる国や地域については、キヤノンのホームページで確認してください。なお、それ以外の国や地域でGPS機能を使用した際のトラブル等については、弊社は一切責任を負いかねます。
  - 国や地域によっては、GPS機能の使用などが規制されていることがありますので、お使いになる国や地域の法令等の規制にしたがってご使用ください。国外でGPS機能を使用するときは特に注意してください。
  - 電子機器の使用が制限されている場所での使用には十分注意してください。
  - GPS機能を使って撮影した静止画や動画に記録されるカメラの位置情報は、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのためGPS機能を使ってカメラの位置情報が記録されている静止画、動画、GPSログファイルを他人に渡したり、インターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載するときは、十分注意してください。

1. 設定画面を表示する

2. ［カメラ基本設定］をタッチする

3. ［位置情報を画像に付加する］をオンにする

4. ［OK］をタッチする

- 次回以降、アプリケーションが起動した状態で撮影すると、撮影した画像に位置情報が付加されます。

注意

- ［**位置情報を画像に付加する**］をオンにした直後や、自動撮影のタイミングによっては、カメラがスマートフォンからの位置情報を受信できず、位置情報が記録されないことがあります。
- 位置情報を記録した静止画や動画は、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのため、位置情報が記録されている静止画や動画を他人に渡したり、インターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載するときは、十分注意してください。
- ［**画像の保存時に位置情報を削除する**］をオンにすると、画像をスマートフォンに保存するとき、位置情報を削除することができます。

ハイライトを作成する（iOSのみ）

静止画や動画をつなげて短い動画（ハイライト）を作成できます。この機能はiOSのみお使いいただけます。

こんなときにおすすめ！

- 結婚式や披露宴の新郎新婦を主役にした動画を作りたいとき
- 数日分の旅行の思い出をまとめた動画を作りたいとき

1. **［（ハイライト）］をタッチして、「ハイライト画面」を表示する**

2. **撮影年月を選ぶ**

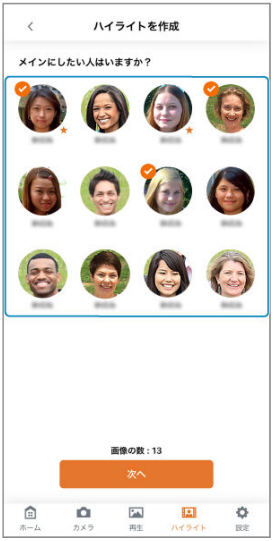
- ［〈］／［〉］をタッチして切り換えます。

3. 撮影日の範囲を選ぶ

- 開始日をタッチします。
- 続けて終了日をタッチします。
- もう一度タッチすると、開始日から選びなおすことができます。
- 撮影画像がある日付は、黒色で表示されます。

4. ［次へ］をタッチする

5. 優先したい登録人物を選ぶ



- 選択した人物にチェックマークがつきます。

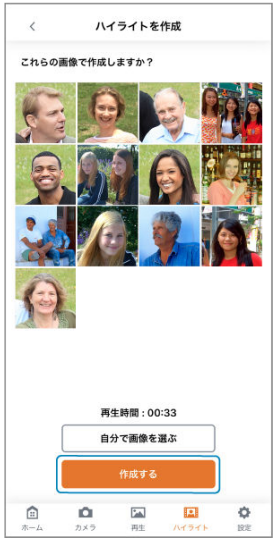
6. ［次へ］をタッチする

7. 設定を変更する

- ［**ハイライトの長さ**］を選ぶと、作成されるハイライトの長さを変更できます。
- ［**写真1枚の表示時間**］を選ぶと、ハイライト内の静止画の表示秒数を変更できます。スマートフォンの搭載メモリー（RAM）が2GB以下の場合、［**ハイライトの長さ**］を［**2分**］にすると、［**写真1枚の表示時間**］の［**2秒**］は選択できません。
- ［**BGM**］を選ぶと、ハイライトのBGMを変更できます。

8. ［次へ］をタッチする

9. ［作成する］をタッチする



- 表示されている画像でハイライトが作成されます。
- 使用する画像を変更したい場合は、［**自分で画像を選ぶ**］をタッチし、画像を選択してください。選択できる画像の枚数は、スマートフォンの搭載メモリー（RAM）が2GB以下の場合は50枚まで、2GBを超える場合は80枚までです。

10. ［保存する］をタッチする

- 作成されたハイライトがスマートフォンに保存されます。
- ［**再生する**］を選ぶと、作成されたハイライトを見ることができます。

アスペクト比を変更する

静止画の縦横の比率を変更することができます。

1. **設定画面を表示する**

2. **［カメラ基本設定］をタッチする**

3. **［アスペクト比］をタッチする**

4. **項目を選ぶ**

ビデオ記録画質を変更する

動画の記録画質を変更することができます。

参考

- ビットレートが12Mbps以外の記録画質は、低圧縮となります。
- 記録画質が大きいほどファイルの容量が大きくなりますが、滑らかな動画になります。
- 動画撮影では、温度が上昇して撮影が停止される場合があります。長時間動画を撮影したい場合やより多くの動画を撮影したい場合は、記録画質を小さくすることをおすすめします。
- ビットレートの大きい動画やWi-Fiが混雑している環境下では、動画が滑らかに再生されません。その場合はファイルをダウンロードしたあとに動画再生することをおすすめします。

1. 設定画面を表示する

2. ［カメラ基本設定］をタッチする

3. **［ビデオ記録画質］をタッチする**

4. **項目を選ぶ**

カメラの動作音の設定を変更する

カメラの動作音のオン／オフを切り換えることができます。

1. **設定画面を表示する**

2. **［カメラ基本設定］をタッチする**

3. ［カメラ音］をタッチする

4. 設定を変更する

- ［**切**］にすると、起動音やエラー通知音が鳴らなくなります。
- ［**自動撮影音切**］にすると、自動撮影音が鳴らなくなります。

注意

- ［**カメラ音**］を［**切**］にしていても、音声操作によるシャッター音は鳴ります。

カメラのニックネームを変更する

「ホーム画面」上部に表示される、カメラのニックネームを変更することができます。

1. **設定画面を表示する**

2. **［カメラ基本設定］をタッチする**

3. ［カメラのニックネーム］をタッチする

4. キーボードで文字を入力する

- 入力可能な文字は大小アルファベット、数字、記号です。最大８文字まで入力できます。

画像の自動削除の設定を変更する

カードの空き容量不足を防ぐため、撮影した画像を自動的に削除することができます。

注意

- ［**画像の自動削除**］をオンにする場合、必要なデータは、必ず事前にスマートフォンやパソコンなどに保存するか、お気に入りに設定してください。

---

1. **設定画面を表示する**

2. **［カメラ基本設定］をタッチする**

3. ［画像の自動削除］をオンにする

注意

- 総容量が8GB以上のカードを使用しているとき、カードの空き容量が1GBを下回った場合に、カードの空き容量が2GBになるように画像が削除されます。
- 総容量が8GB未満のカードを使用しているとき、カードの空き容量が12%を下回った場合に、カードの空き容量が25%になるように画像が削除されます。
- 撮影日時の古い画像から削除されます。
- お気に入りに設定された画像は削除されません。
- スマートフォンと接続しているときは、画像は削除されません。
- 自動削除できないファイルでいっぱいのときは、［**画像の自動削除**］が自動的にオフになります。
- 撮影後24時間以内の画像は削除されません。

ワイヤレス通信ボタンをシャッターボタンとして使用する

カメラとアプリケーションをWi-Fi接続していないときに、カメラの〈((ｱ))〉ボタンをシャッターボタンとして使用できます。
静止画撮影時は〈((ｱ))〉ボタンを短く押す、動画撮影時は〈((ｱ))〉ボタンを2秒間押すことで、撮影を開始できます。動画撮影を終了するときは、〈((ｱ))〉ボタンを短く押します。

1. **設定画面を表示する**

2. **［カメラ基本設定］をタッチする**

3. ［通信ボタンで撮影する］をタッチする

4. ［入］をタッチする

注意

- カメラの自動撮影がオンの場合、〈((•))〉ボタンを押しても即座に撮影できないことがあります。
- 〈((•))〉ボタンを押して動画撮影した場合、設定画面の［**自動撮影モード**］にある［**探索範囲**］の設定で自動追尾します。ホーム画面で［**自動撮影**］をオフにしていても、〈((•))〉ボタンで動画撮影を行うことができます。動画撮影中は設定画面の［**自動撮影モード**］にある［**探索範囲**］の設定で自動追尾されます。

設定を初期状態に戻す

カメラとアプリケーションの設定の初期化や、カメラに挿入されているカードを初期化することができます。
新しく買ったカードや、他のカメラ、パソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）してください。

注意

- **カードを初期化すると、カードに記録されている内容は、画像だけでなくすべて削除されます。保護された画像も削除されますので、記録内容を十分に確認してから初期化してください。必要なデータは、初期化する前に必ずスマートフォンやパソコンなどに保存してください。**

1. **設定画面を表示する**

2. ［カメラの初期化］をタッチする

3. 項目を選ぶ

- **［通信設定を初期化］**
  カメラとアプリケーションの通信設定、Webカメラ設定を初期化します。

- **［すべての設定を初期化］**
  アプリケーションの設定、通信設定、Webカメラ設定を初期化します。
  人物の登録情報も削除されます。

- **［カメラ内のカード初期化］**
  カメラに挿入されているカードを初期化します。

注意

- 通信設定を初期化したあと、スマートフォンのBluetooth設定画面で、通信の設定を初期化したカメラの登録を解除してください。
- 別のカメラとスマートフォンを接続する場合には、[**通信設定を初期化**] または [**すべての設定を初期化**] を行う必要があります。
- カメラの電源を切って、〈((ᛉ))〉ボタンを押しながら〈⏻〉ボタンを押すことでもカメラの通信設定を初期化することができます。

カード初期化時のファイルフォーマットについて

microSDカードはFAT12/16形式、microSDHCカードはFAT32形式、microSDXCカードはexFAT形式でフォーマットされます。

注意

- このカメラで初期化したmicroSDXCカードは、他のカメラでは使用できないことがあります。また、exFAT形式でフォーマットされたカードは、パソコンのOSやカードリーダーによっては、正しく認識されないことがあります。
- カード内のデータは、初期化や削除では完全には消去されません。譲渡・廃棄するときは、注意してください。カードを廃棄するときは、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。
- FAT32/exFAT形式でフォーマットされたカードを使用したときは、動画撮影を開始してファイルサイズが4GBを超えると、新しい動画ファイルが自動的に作成されます。

参考

- カード初期化画面に表示されるカードの総容量は、カードに表記されている容量よりも少なくなることがあります。
- 本機器はMicrosoftからライセンスされたexFAT技術を搭載しています。

ネットワーク設定を確認する

1. **設定画面を表示する**

2. **［ネットワーク設定］をタッチする**

3. 項目を選ぶ

- **［MACアドレス］**
  接続しているカメラのMACアドレスを確認できます。
- **［SSID］**
  接続しているカメラのSSIDを確認できます。
- **［チャンネル］**
  接続しているカメラのWi-Fiチャンネルを確認できます。
- **［パスワード］**
  接続しているカメラのWi-Fiパスワードを変更できます。

注意

- ［**SSID**］と［**パスワード**］はWi-Fi直接接続時のみ確認できます。

Webカメラとして使用する

- アクセスポイントの設定を確認する
- Webカメラを設定する

ここでは、カメラ本体とパソコンを無線LANアクセスポイント経由で接続して、Webカメラとして使用する方法について説明します。

アクセスポイントの設定を確認する

アクセスポイントとなるWi-Fi親機（Wi-Fiルーターなど）は、主な仕様に記載しているWi-Fi規格（）に対応しているものをお使いください。

- **ネットワーク名（SSID/ESSID）**
  お使いのアクセスポイントのSSIDまたはESSIDです。「アクセスポイント名」や「ネットワーク名」とも呼ばれることもあります。
- **ネットワークの認証/データの暗号化（暗号化方式/暗号化モード）**
  無線通信時のデータを暗号化する方式です。「WPA2-PSK（AES）」「WPA2-PSK（TKIP）」「なし」のいずれであるかを確認してください。
- **パスワード（暗号化キー/ネットワークキー）**
  無線通信時のデータを暗号化するために使われるキー（鍵）です。「暗号化キー」や「ネットワークキー」と呼ばれることもあります。

注意

- システム管理者がいるネットワーク内で設定するときは、ネットワーク管理者にネットワーク設定の詳細をお問い合わせください。
- これらの情報はセキュリティー上大変重要なものです。お取り扱いには十分ご注意ください。

参考

- ルーターとは、複数のパソコンなどを接続して、ネットワーク（LAN）を構築するときに使われる機器です。さらに、Wi-Fi機能を内蔵しているルーターを「Wi-Fiルーター」と呼びます。
- 本書では、Wi-FiルーターなどのWi-Fi親機すべてを「アクセスポイント」と呼びます。
- お使いのアクセスポイントでMACアドレスをフィルタリングしているときは、アクセスポイントにカメラのMACアドレスを登録してください。カメラのMACアドレスは、［**ネットワーク設定**］の［**MACアドレス**］で確認できます（）。

Webカメラを設定する

1. **以下のサイトにアクセスし、パソコンとの接続用ソフトウェアWireless Webcam Utility for Mini PTZ Camをインストールする**
   https://cam.start.canon/C009/

2. **Connect app for Mini PTZ Camで、設定画面を表示する**

3. **［Webカメラ設定］をタッチする**

4. 無線LANアクセスポイントを設定する

- 接続するパソコンと同じネットワークの無線LANアクセスポイントのSSIDとパスワードを入力します。
- セキュリティは、無線LANアクセスポイントで使用しているものを選択します。

5. Webカメラアカウントを登録する

- カメラに任意のユーザー名とパスワードを登録します。ユーザー名とパスワードは、PCとの接続に使用しますので、メモするなどして記憶してください。

6. [カメラに設定する] を押す

- カメラに無線LANアクセスポイントとWebカメラアカウントを登録します。
- Webカメラアカウントのユーザー名とパスワードを忘れた場合は、[**設定を削除**] を押してすべての設定を削除したあと、手順4からやり直してください。

7. カメラ本体の〈((ψ))〉ボタンを1回押す

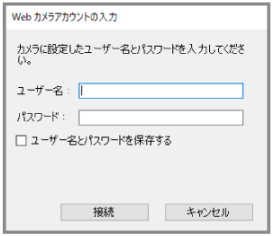
- カメラとConnect app for Mini PTZ CamをSSIDで接続している場合は、〈((ψ))〉ボタンを2回押してください。

8. パソコンのタスクバーの右にある通知領域から、アプリケーションアイコンをクリックする

9. Webカメラとして利用する本体を選ぶ

- カメラのニックネームが表示されます。

10. 手順5で設定したユーザー名とパスワードを入力し、接続ボタンを押す



- カメラ本体をWebカメラとして使用できるようになります。
- 使用するWeb会議アプリケーションで、このカメラを指定してください。

参考

- Webカメラの使用を終了し、カメラをConnect app for Mini PTZ Camとつなぎなおすためには、カメラの電源を入れ直してください。
- カメラの電源を切ったあと、再度Webカメラとして使用する場合は、カメラの電源を入れ、手順7から操作を行ってください。

アプリケーションからのメッセージを読む

「ホーム画面」で、カメラからのコミュニケーションメッセージとエラーメッセージの2種類のメッセージを確認できます。エラーが発生したときは、メッセージを確認してください。

- **コミュニケーションメッセージの例**

  「新しいおすすめ写真がありますよ！」

- **エラーメッセージの例**

  「カードを入れて、カメラの電源を入れ直して下さい。」

参考

- メッセージ表示エリアのカメラアイコンをタッチするとメッセージ履歴を確認できます。画像がついた吹き出しをタッチするとメッセージに応じた画面が表示されます。

エラー表示の対応

エラーが発生したときは、下記のいずれかの方法でエラー内容を表示してください。その後、この章の対応例を参考にしてエラーの原因を取り除いてください。

- 「ホーム画面」で、エラーメッセージを確認する。
- 「ホーム画面」で、メッセージ表示エリアのカメラアイコンをタッチする。

下記のエラー番号をクリックすると該当の項目にジャンプします。

W01	W02	W03	W04	W05	W06	W07

W01：アクセスポイントが見つかりませんでした（エラーコード:W01）。詳細はWebにある活用ガイドをご確認ください。

- Webカメラを設定する（🔗）で入力した無線LANアクセスポイントのSSIDが正しいか確認してください。
- アクセスポイントの設定を確認してください（🔗）。
- アクセスポイントが、カメラの対応チャンネルおよび対応送信周波数で通信していることを確認してください（🔗）。また、アクセスポイントのチャンネル選択が自動の時は、カメラが対応するチャンネルのいずれかに手動で固定することをおすすめします。
- アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。

W02：入力したアクセスポイントのパスワードが正しいか確認してください（エラーコード:W02）。詳細はWebにある活用ガイドをご確認ください。

- Webカメラを設定する（🔗）で入力した無線LANアクセスポイントのパスワードが正しいか確認してください。
- アクセスポイントのパスワード設定を確認してください（🔗）。

W03：Webカメラモードでエラーが発生しました（エラーコード:W03）。詳細はWebにある活用ガイドをご確認ください。

- アクセスポイントと接続できませんでした。
- アクセスポイントの設定を確認してください（🔗）。

W04：Webカメラモードでエラーが発生しました（エラーコード:W04）。詳細はWebにある活用ガイドをご確認ください。

- Webカメラを設定する（）で入力した無線LANアクセスポイントのセキュリティが正しいか確認してください。
- アクセスポイントのネットワークの認証/データの暗号化設定を確認してください（）。

W05：Webカメラモードでエラーが発生しました（エラーコード:W05）。詳細はWebにある活用ガイドをご確認ください。

アクセスポイントの確認内容

- DHCPサーバーからアドレスが割り当てられていません。
- アクセスポイントのDHCPサーバー設定をご確認ください。

DHCPサーバーの確認内容

- **DHCPサーバーの電源は入っていますか？**
  - DHCPサーバーの電源を入れてください。
- **DHCPサーバーから割り当てられるアドレスに余裕はありますか？**
  - DHCPサーバーが割り振るアドレスを増やしてください。
  - DHCPサーバーからアドレスが割り振られている端末を、ネットワークから外して減らしてください。
- **DHCPサーバーは正常に機能していますか？**
  - DHCPサーバーの設定を確認して、DHCPサーバーとして正常に機能しているか確認してください。
  - ネットワーク管理者がいるときは、DHCPサーバーを使用できる状態にするよう依頼してください。

W06：Webカメラモードでエラーが発生しました（エラーコード:W06）。詳細はWebにある活用ガイドをご確認ください。

- Wi-Fiの環境が悪い可能性があります。
- 電子レンジなど、2.4GHz帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。
- 本製品と接続先の機器（アクセスポイントやパソコンなど）を近づけて、その間に物を置かないでください。
- 接続先の機器でエラーが発生していないか確認してください。

W07：Webカメラモードでエラーが発生しました（エラーコード:W07）。詳細はWebにある活用ガイドをご確認ください。

- アクセスポイントの設定を確認してください（）。

1. 設定画面を表示する

2. ［その他の設定］をタッチする

3. 項目を選ぶ

- **［カメラのファームウェアのバージョン］**
  カメラのファームウェアのバージョンを表示します。

- **［アプリのバージョン］**
  アプリケーションのバージョンを表示します。

- **［プライバシーポリシー］**
  プライバシーポリシーのWebサイトを開きます。

- **［利用状況に関する情報の収集について］**
  使用状況調査プログラムに同意するか、しないかを設定します。

- **［サードパーティ製ソフトウェアについて］**
  アプリケーションが使用しているオープンソースソフトウェアなどのライセンス情報を表示します。

- **［認証マーク表示］**
  認証マーク情報を表示します。

- **［ファームウェアアップデート(ダウンロード)］**
- **［ファームウェアアップデート(カード)］**
  カメラのファームウェアを更新します。画面の指示に従って操作してください。

- **［カメラとの通信設定を削除］**
  カメラとの通信設定を削除します。削除をしたあと、カメラと再度ペアリングしてください。この設定は、カメラと接続していないときかつ通信設定がアプリケーションに保存されているときに表示されます。

参考

- 接続がうまくいかないときは、「故障かな？と思ったら」の無線通信機能関連を参照してください。

資料

この章では、撮影の参考になるカメラの機能情報などについて説明しています。

- 故障かな？と思ったら
- セキュリティーについて
- 主な仕様
- 本製品を廃棄するときは

故障かな？と思ったら

電源関連

撮影関連

無線通信機能関連

再生関連

「カメラが故障したのかな？」と思ったら、下記の例を参考にしてカメラをチェックしてください。なお、チェックしても状態が改善しないときは、修理受付窓口にご相談ください。

電源関連

充電できない

- 充電に関する不具合は、充電するを参照してください。それでも改善出来ない場合は、カメラの動作が不安定になる／ボタン操作ができないに従って作業してください。

電源を入れてもカメラが作動しない

- カードが正しくセットされているか確認してください（）。
- 充電してください（）。

内蔵バッテリーの消耗が早い

- フル充電した状態での使用をおすすめします（）。
- 充電したのにすぐ使えなくなるときはバッテリーの寿命です。修理受付窓口にご相談ください。

カメラの動作が不安定になる／ボタン操作ができない

- 本体内部にエラーが起きている可能性があります。本体の〈⏻〉ボタンを約8秒長押しして、本体を強制的にシャットダウンします。その後しばらく待ってから〈⏻〉ボタンを押して電源を入れてください。

撮影関連

撮影・記録ができない

- カードが正しくセットされているか確認してください（）。
- カードの空き容量がない場合は、空き容量のあるカードに交換するか、不要な画像を削除してください（、）。

カードが使えない

- カードのトラブルに関するメッセージが表示されたときは、カードを入れる／取り出すを参照してください。

動画撮影が勝手に終了する

- 書き込み速度が遅いカードを使用すると、動画撮影が自動的に終了することがあります。動画が記録できるカードについては、主な仕様を参照してください。なお、書き込み速度については、カードメーカーのホームページなどで確認してください。
- 動画撮影を開始してから29分59秒経過すると、動画撮影が自動的に終了します。
- 自動撮影で動画撮影中に音声コマンドを検出すると動画撮影が自動的に終了します。
- カメラ内部の温度が上昇すると、自動で撮影が終了し、電源が切れる場合があります。電源が切れた状態のまま、カメラ内部の温度が下がるのを待ってから、電源を入れ直してください。

動画撮影中に映像や音が乱れる

- 動画撮影中にカメラを持ち上げたり、動きのある被写体を撮影すると、動画に作動音が記録されることがあります。また、動画撮影中にズーム操作を行うと、露出変化やレンズの作動音が記録されたり、レンズ光学補正が正しく適用されなかったり、ピントがズレることがあります。
- カメラの可動部に端子カバーが触れると、動画に接触音が記録されることがあります。端子カバーがカメラの可動部に触れないようにしてください。

動画撮影時に画面がちらつく／横縞が写る

- 蛍光灯やLED照明などの光源下で動画撮影を行うと、画面のちらつきや、横縞（ノイズ）や露出ムラが記録されることがあります。また、露出（明るさ）や色あいの変化が記録されることがあります。

動画撮影時に被写体がゆがむ

- 動画撮影中にレンズが左右に動いたり（パンニング）、動きのある被写体を撮影すると、像がゆがんで写ることがあります。

撮影した画像がぼける

- ドームカバーにくもり、汚れ、ゴミが付着していないか確認してください。取り扱い上のご注意のカメラについて（）に記載の方法で、カメラを清掃してください。汚れがひどい場合は、修理受付窓口にご相談ください。

無線通信機能関連

スマートフォンとペアリングできない

- Bluetooth Specification Version 4.1以上に対応しているスマートフォンを使用してください。
- スマートフォンの設定画面で、Bluetooth機能をオンにしてください。
- スマートフォンのBluetooth機能設定画面では、カメラとのペアリングはできません。スマートフォンにインストールしたConnect app for Mini PTZ Camを起動してペアリングしてください。
- カメラに接続できるスマートフォンは1台のみです。別のスマートフォンと接続したいときは、カメラの通信設定を初期化してから、別のスマートフォンとペアリングしてください（🔗）。
- Connect app for Mini PTZ Camで通信設定を初期化したときは、スマートフォンの設定画面で、Bluetooth設定を削除してください。そのあとに再度ペアリングしてください。
- カメラとパソコンをUSB接続しているときは、ペアリングできません。パソコンからインターフェースケーブルを取り外した状態でペアリングしてください。

スマートフォンに再接続できない

- スマートフォンが接続できるカメラは1台のみです。ペアリング済みスマートフォンを別のカメラと接続したいときは、[**その他の設定**] の [**カメラとの通信設定を削除**]（🔗）でスマートフォンの通信設定を削除してから、再度ペアリングしてください。または、Connect app for Mini PTZ Camを立ち上げて60秒後に表示されるメッセージに従い、スマートフォンの通信設定を削除してから、再度ペアリングしてください。
- ボタンの誤操作などで、意図せずカメラの通信設定が初期化された場合、再接続できません。Connect app for Mini PTZ Camを立ち上げて60秒後に表示されるメッセージに従い、スマートフォンの通信設定を削除してから、再度ペアリングしてください。
- スマートフォンのOSが最新バージョンであるかを確認してください。最新バージョンに更新すると、改善することがあります。

再生関連

画像番号が0001から始まらない

- 画像が記録されているカードを使用すると、撮影した画像の番号が0001から始まらないことがあります。

撮影年月日／時刻が正しく記録されない

- カメラをスマートフォンに接続したときにスマートフォンの日付/時刻がカメラに設定されます。スマートフォンの日付/時刻が正しく設定されているか確認してください。

画像（静止画／動画）が再生できない

- 他のカメラで撮影した画像は再生できません。

動画を再生すると作動音がする

- 動画撮影中にカメラの操作を行うと、カメラに内蔵されたマイクにより、レンズの作動音が一緒に録音されることがあります。

セキュリティーについて

セキュリティーに関する設定が適切に行われていないときは、次のような問題が発生する恐れがありますので注意してください。

- 通信の傍受
  悪意ある第三者によって無線LANの電波を傍受され、通信内容を盗み見られる恐れがあります。
- ネットワークへの不正アクセス
  悪意ある第三者によって、お使いのネットワークに不正に侵入され、情報の盗難・改ざん・破壊をされるといった被害に遭う恐れがあります。また、別の人物を装ってネットワークに不正な情報を流す「なりすまし」通信がされたり、「踏み台」と呼ばれる別の不正アクセスへの中継地点にされたりする恐れもあります。

こうした問題が発生する可能性を少なくするため、ネットワークのセキュリティーを確保するための仕組みや機能を使用することをおすすめします。

主な仕様

焦点距離

3.4（W）- 10.2（T）mm

35mm判換算焦点距離
19（W）- 57（T）mm相当

開放F値

F2.8（W）- F5.0（T）

撮影距離

20cm ～ ∞（W） / 30cm ～ ∞（T）

パン/ チルト可動範囲

	パン/ チルト可動範囲
パン方向	最大約-170°（左） ～ +170°（右）
チルト方向	最大約-20°（下） ～ +90°（上）
ロール方向	固定

手ブレ補正機能

あり

カメラ部有効画素数

最大約1170万画素

総画素数

約1280万画素

有効センサーサイズ

1/2.3型

デジタルズーム

静止画	自動撮影	最大4倍
	リモート撮影	
動画	自動撮影	
	リモート撮影	

記録媒体

microSD , microSDHC , microSDXC メモリーカード
＊SDスピードクラス対応
＊UHS-I対応

静止画・記録画像タイプ

JPEG

静止画・記録画素数

	記録画素数
アスペクト比4 : 3[*1]	1200万（4000 × 3000）画素
アスペクト比16 : 9	約900万（4000 × 2248）画素

＊1：歪曲補正が行われるため、下記関係となる
（カメラ部有効画素数）＜（記録画素数）

静止画・ファイルサイズ/ 撮影可能枚数

	ファイルサイズ[約・MB]	撮影可能枚数[約・枚]
アスペクト比4 : 3	5.0	11594
アスペクト比16 : 9	4.4	13526

＊撮撮影可能枚数は、キヤノン試験基準UHS-I対応64GBカード使用時の枚数
＊ファイルサイズ・撮影可能枚数は、撮影条件（被写体、ISO 感度など）により異なる

動画フォーマット

コンテナフォーマット	MP4		
アスペクト比	16 : 9		
フレームレート	59.94 fps	29.97 fps	23.98 fps
記録画素数	1920 × 1080（フルHD）		

動画記録サイズ毎の総記録時間と映像ビットレート、ファイルサイズの目安

動画記録サイズ			カード毎の総記録時間（約・分）		映像ビットレート（約・Mbps）	ファイルサイズ（約・MB/ 分）
			32GB	128GB		
フルHD	59.94fps	IPB(標準)	121.4	464.3	35	251.3
	29.97fps	IPB(標準)	175.7	650.1	24	172.6
		IPB(軽量)	344.1	1250.2	12	86.7
	23.98fps	IPB(標準)	175.7	650.1	24	172.6
		IPB(軽量)	344.1	1250.2	12	86.7

動画記録の注意事項
＊映像ビットレートは、映像のみで音声は含まない
＊1回の上限記録時間は29分59秒であり、上限時間を超えた場合、動画記録は中断する
＊キヤノン試験基準UHS-I 対応カード使用

要求カード性能

動画記録サイズ			メモリーカード
フルHD	59.94fps	IPB(標準)	SD スピードクラス6 以上
	29.97fps	IPB(標準)	SD スピードクラス4 以上
		IPB(軽量)	
	23.98fps	IPB(標準)	SD スピードクラス4 以上
		IPB(軽量)	

録音マイク

デジタルマイクを2個内蔵（ステレオ）
＊外部マイク端子は非搭載

測光輝度範囲

静止画撮影時	EV1 ～ 18
動画撮影時	EV4 ～ 18

＊常温、ISO オート

ISO感度

静止画撮影時

	ISO感度（オート範囲）
自動撮影時	100 ～ 6400
リモート撮影時	100 ～ 6400

動画撮影時

	動画モード	ISO感度（オート範囲）
自動撮影時 リモート撮影時	フルHD（59.94fps）	100 ～ 3200
	フルHD（29.97fps）	100 ～ 3200
	フルHD（23.98fps）	100 ～ 3200

静止画撮影

型式
撮像素子による電子シャッター

シャッタースピード

	シャッタースピード（オート範囲）
自動撮影時	1/16000 ～ 1/8秒 ＊ユーザー設定不可
リモート撮影時	

動画撮影

型式
撮像素子による電子シャッター

シャッタースピード

	シャッタースピード（オート範囲）
自動撮影時	1/16000 ～ 1/30秒 ＊ユーザー設定不可
リモート撮影時	

デジタル端子

端子形状
USB Type-C

通信
Hi-Speed USB（USB2.0）相当

使用電池

充電式リチウムイオン電池を本体に内蔵

動作可能時間

撮影モード	自動撮影頻度設定	動作可能時間（約）
自動撮影	少	5時間00分
	中	3時間30分
	多	2時間00分

大きさ・質量

大きさ
約Φ56.4 mm × 81.9 mm（H）
＊ブラック/ホワイト共通
＊CIPAガイドラインによる

質量
約170g
＊ブラック/ホワイト共通
＊カードを含む
＊CIPAガイドラインによる
約169g
＊ブラック/ホワイト共通
＊本体のみ

動作環境

動作温度
0°C ～ 40°C

動作湿度
10% ～ 90%

Bluetooth

準拠規格
Bluetooth Specification Version 4.1準拠（Bluetooth low energy技術）

伝送方式
GFSK変調方式

Wi-Fi（無線LAN）

準拠規格
IEEE802.11b/g/n

伝送方式

Wi-Fi準拠規格	伝送方式
IEEE802.11b	DS-SS変調方式
IEEE802.11g	OFDM変調方式
IEEE802.11n	

送信周波数
2.4GHz帯

チャンネル
1～11

- 記載データはすべて当社試験基準、またはCIPA試験基準/ガイドラインによります。
- 大きさ、質量はCIPAガイドラインによります。
- 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

本製品を廃棄するときは

本製品に使用しているバッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。使用済みの製品を廃棄する際はバッテリーを取り出し、リサイクルにご協力ください。廃棄の前には以下をよくお読みになり、ご理解の上バッテリーを取り出してください。以下の記載に反する行為などによる損害については、当社では一切の責任を負いかねます。

⚠ 警告

- 火災・感電・けがの原因となるため、製品を廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください。
- 分解の前には、必ず充電ケーブルを本体から外してください。
- 本体を分解する際にネジなどの小さい部品が出てきます。小さい部品を誤って口に入れないよう、小さなお子様の手の届かない所で分解してください。万一飲み込んだ場合はただちに医師にご相談ください。

Li-ion

- 不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで最寄りの電池リサイクル協力店へお持ちください。
  詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。
  ホームページ：http://www.jbrc.com
- 端子部をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

❗ 注意

- 使用済みのバッテリーは、各自治体のルールにしたがって処分してください。

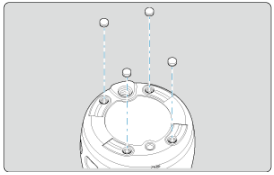
参考

- ねじの取り外しには、M1.7のプラスネジに対応したプラスドライバーの使用をおすすめします。

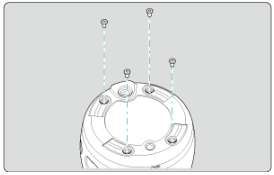
---

1. カメラの電源を切る

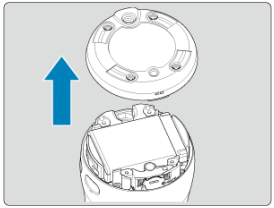
2. **カメラ底面部のゴム足を先端の細いもの（マイナスドライバーなど）でめくり上げ、取り外す**



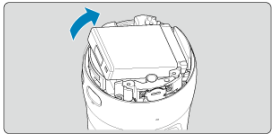
3. **ねじを取り外す**



4. **本体のカバーを取り外す**



5. **バッテリーを取り外す**



商標・ライセンスについて

- 商標について
- MPEG-4使用許諾について
- アクセサリーについて
- 修理対応について

商標について

- App Store、macOSは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- Google PlayおよびAndroidはGoogle LLCの商標です。
- IOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- QRコードは、株式会社デンソーウェーブの商標です。
- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、キヤノン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。

MPEG-4使用許諾について

"This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard."

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD (''AVC VIDEO'') AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

＊規定により英語で表記しています。

アクセサリーについて

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします
本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。
なお、純正品以外のアクセサリーの不具合に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

修理対応について

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。
2. 本製品の修理対応期間は、製品製造打切り後3年間です。なお、弊社の判断により、修理対応として同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。
3. 修理品をご送付の場合は、見本の撮影データやプリントを添付するなど、修理箇所を明確にご指示の上、十分な梱包でお送りください。